スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

神奈川県藤沢市

自 治 体 名 ： 神奈川県藤沢市
担 当 課 名 ： 藤沢市教育委員会　教育指導課
電 話 番 号 ： 0466-50-3559

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

面積	69.56㎢
人口	442,923人
公立中学校数	19校
公立中学校生徒数	10,586人
部活動数 （運動部活動のみ）	220部活
地域クラブ活動数	2クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

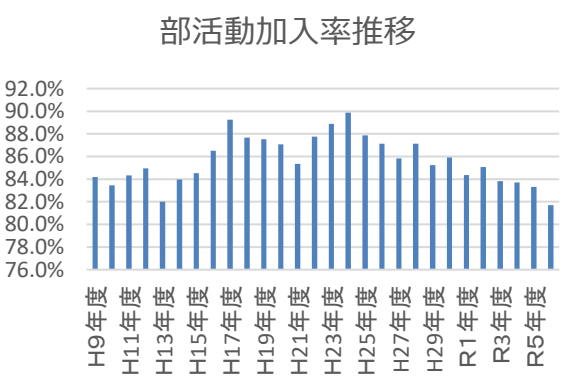
地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

本市の中学校部活動の加入率は長きにわたり、8割を超える程高い率を維持しており、多くの生徒が部活動を通し、一人ひとりの個性を伸長し、豊かな心を培うための活動をしている。

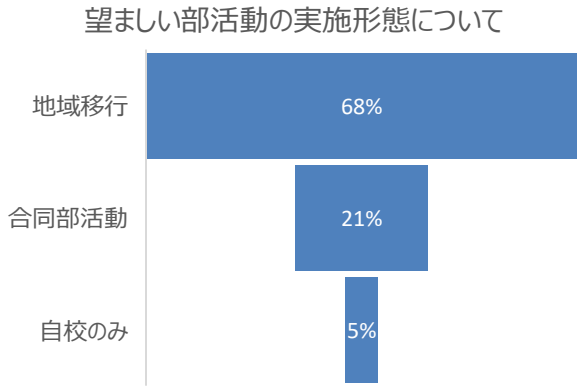
一方で、部活動を支える「教員の負担」については長年にわたる大きな課題である。

令和6年度9月に、本市の部活動の課題とニーズをつかむことを目的とした「部活動アンケート」を実施したところ、今後、生徒数が減少し、校内の部活動の設置数や部員数が減少していくことが考えられるが、その場合、部活動はどのような実施形態が望ましいと考えるかという質問に対して約7割の教員が「地域に移行したクラブ活動として行う」という回答であった。

部活動の地域連携・地域移行については、部活動指導員をはじめとする地域指導者のより一層の活用とともに、モデル実証の実施から得られた知見を活かし、教員と地域指導者の十分な連携を意識した取組を行う必要がある。



出典：令和６年度藤沢地区運動部調査



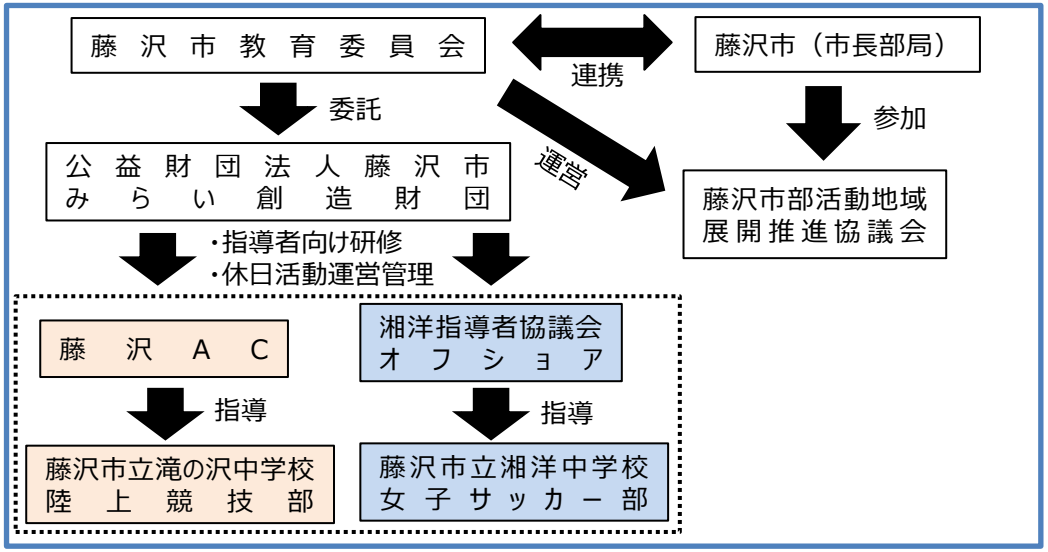
出典：令和６年度「部活動アンケート」

2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



●行政組織内での役割分担

◉**教育委員会**（教育総務課、学務保健課、教育指導課、学校施設課）
部活動地域展開の運営事務局
・協議会の運営
・モデル実証の検討　等

◉**首長部局**（生涯学習部　生涯学習総務課、文化芸術課、スポーツ推進課）

教育委員会各課とともに部活動地域展開の運営事務局を担う。

年間の事業スケジュール

・令和7年4月

モデル実証の委託契約締結

・令和７年10月

第１回情報交換会の実施（出席者：市教委、委託事業者、指導者・補助者）

・令和８年３月

第２回情報交換会の実施（出席者：市教委、委託事業者、指導者・補助者）

モデル実証の委託契約完了報告

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		2クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		2クラブ（2部活動）
	B：部活動にはない種目など、新規の地域クラブ活動数		0クラブ
全体の指導者数	１０人	全体の運営スタッフ数	４人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日･休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
藤沢AC	任意団体	陸上競技	･休日　2回	9:00～ 12:00	1年生 24人 2年生　9人 3年生　9人	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	4人	4人 （内、兼務4人）	なし	中体連：部活動
湘洋指導者協議会オフショア	一般社団法人	女子サッカー	･休日　4回	13:00～ 16:00	1年生 13人 2年生 11人 3年生 11人	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	6人	4人 （内、兼務4人）	なし	その他：地域クラブ

2.実証内容と成果

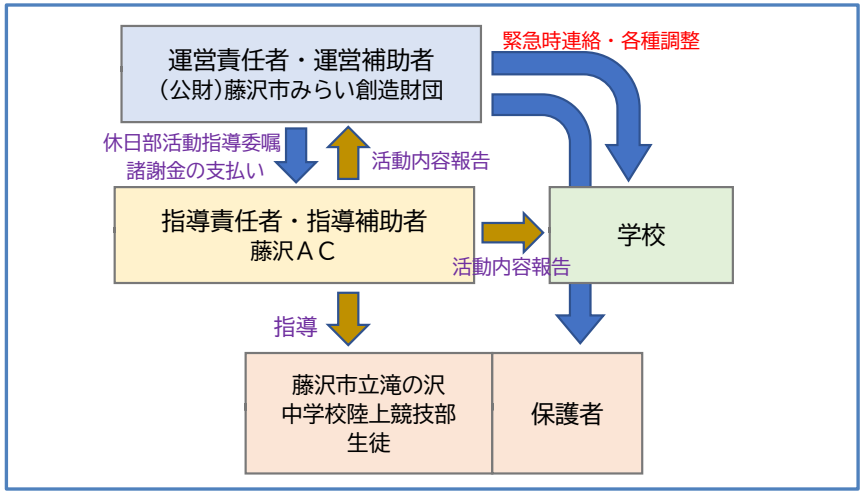
スポーツ庁

主な取組例

●藤沢AC　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	陸上競技
運営団体名	藤沢AC
期間と日数	令和7年4月1日～令和8年3月31日 月2回程度
指導者の主な属性	社会人
活動場所	滝の沢中学校グラウンド
主な移動手段	交通用具
1人あたりの参加会費等（年額）	なし
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

●運営責任者　1名
役割：研修の企画・実施、指導者団体と学校との連絡調整、生徒・指導者の保険加入、事故発生時の保護者・学校への対応等を行う。

●運営補助者　3名
役割：運営責任者不在時において運営責任者の役割を担うとともに、運営責任者の業務補助を行う。

●指導者責任者　1名
役割：部活指導の計画立案と実行、生徒に対する指導内容についての責任を担うとともに、日常の活動について運営責任者・部活顧問・保護者との連絡調整を行う。

●指導補助者　3名
役割：部活指導補助を行うとともに、責任者不在時における関係者との連絡調整を行う。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

- 指導者の質の確保として、地域指導者基礎研修を実施した。
- 平日と休日の指導者間連携の観点から「休日の活動」内容を適切に学校長及び顧問教諭等に引き継ぐことができるよう検証を行った。

今後の取組における課題

- 地域指導者の資質向上に向けた継続的な研修機会の確保に加え、学校外で活動する際の安全管理体制の整備が課題である。特に、休日のクラブ活動では保健室が利用できない場合があり、けがや体調不良への対応方法、緊急時の連絡体制等を地域指導者と学校が共通理解のもとで整理しておく必要がある。
- 休日活動の内容共有は一定程度進んだが、負担を感じる部分もあった。確実に引継ぎかつ負担のない方法を検討する必要がある。

取組の成果

- 研修においては、活発な質疑応答や意見交換が行われ、今後の指導に向けた参加者の積極的な姿勢を感じることができた。また、休日のクラブ活動において学校の保健室が使用できない場合のリスクや危険性等についても意見交換が行われ、地域展開を推進するうえでの課題を共有することができた。
- 休日のクラブ活動と平日部活動との情報共有の円滑化が図られ、学校の考える部活動方針の推進に寄与した。

課題への対応方針

- 地域指導者を対象とした基礎研修に加え、安全管理や応急対応等に関する内容を含めた研修を継続的に実施する。また、休日の活動時における事故や体調不良への対応手順、連絡体制、利用可能な医療機関等を事前に整理し、学校と地域指導者が共通認識をもてる体制づくりを進める。
- 休日活動の内容共有は継続しつつ、記録様式や共有方法を簡素化・標準化することで負担軽減を図る。あわせて引き継ぎ手順を整理し、確実かつ無理のない情報共有体制を構築する。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

指導者研修の内容

研修名	安全管理座学研修、AED等実技研修、コンプライアンス研修
研修内容	指導時における怪我や緊急事態に備え、適切な対応ができるよう、応急手当やAEDの使用方法を学ぶとともに、日常的な体調管理や熱中症等の予防を実践できることを目的に開催。 また、中学校部活動の運営に関するガイドラインを正しく理解し、適切な対応を行うとともに、指導者間で共通認識を図るため、コンプライアンスの遵守及びハラスメントの防止等についての研修を実施した。

平日・休日の一貫指導に関する取組

インターネットメール及びExcelファイルを活用し、「指導者」、「学校（校長、顧問）」、「事務局」が情報共有を行う取組を試験的に実施。
Excelファイルにおいて、①活動日時、②活動場所、③練習・活動内容等、④申し送り事項等を随時、共有する取組を実施し、平日と休日の指導者間連携における課題の洗い出しを行った。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

平日・休日の一貫指導に関する取組

インターネットメール及びExcelファイルを活用し、「指導者」、「学校（校長、顧問）」、「事務局」が情報共有を行う取組を試験的に実施。
Excelファイルにおいて、①活動日時、②活動場所、③練習・活動内容等、④申し送り事項等を随時、共有する取組を実施し、平日と休日の指導者間連携における課題の洗い出しを行った。

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

クラブ指導者の導入・地域クラブ活動へ展開していくことは、顧問の負担軽減と生徒の技術向上に貢献しており、今年度は平日と休日の指導の一貫性や運営体制に成果が出ている。

一方、地域クラブ活動に展開するにあたり、今まで部活動が担ってきた人間教育的側面への保護者からの期待や、普段の学校生活も見ている教員と休日の部活動のみを指導するクラブ指導者の連携・共通認識に課題はある。

さらに、財政的な課題に対しても、持続可能な運営のために協力体制や支援の充実が求められる。指導者謝礼や保険加入等の運営費用が自治体の補助に依存している現状では、規模拡大には限界があり、地域クラブとして持続的に運営するためには受益者負担や関係機関の理解が重要となる。

●成果の評価

1. 平日・休日の指導内容の一貫性
   平日と休日の活動において指導者間で活動内容や活動方針等の共有ができており、生徒からも実証事業についての前向きな声が多く寄せられた。
2. 顧問の負担軽減
   外部指導者の活躍により、顧問の負担が軽減され、教員が家庭の事情等でより柔軟に休養をとれる環境が整った。
3. 地域クラブ活動の利点
   地域クラブとの連携により、他校生との交流の機会があり、良い刺激となった。また、複数の指導者から専門的な指導を受けることにより、生徒の技術や意識の向上等につながった。

●今後に向けて

1. 運営の財政面と持続可能性
   財団からは、地域クラブ活動の運営には、指導スキルとともに人間性が信頼できる指導者を安定して確保・派遣する必要性から、適正な指導料についての検討が必要であること、クラブ指導者からは、人材の確保と運営予算についての課題があるとのご意見をいただいた。
2. 文化部における実証
   これまで運動部活動のみで行っていた実証を文化部にも広げていくことにより、休日に地域クラブが校舎内を使用すること等について整理していく。

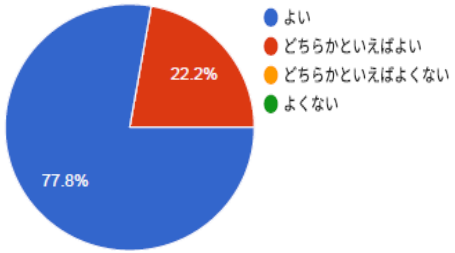
2.実証内容と成果②

スポーツ庁

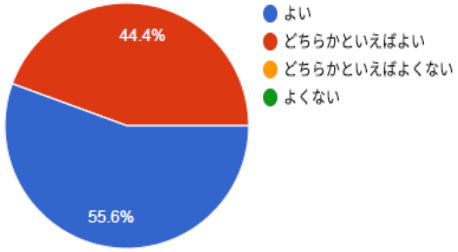
アンケート結果・参加者/関係者の声

●アンケート結果

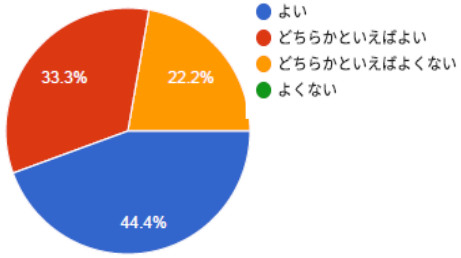
Q.外部指導者の指導についてどう思いますか。（生徒）



Q.外部指導者の指導についてどう思いますか。（保護者）



Q.休日の活動について、学校管理下ではなく、指導団体の管理による活動体制となっていくことについて、どう思いますか。（保護者）



●参加者/関係者の声

【生徒】

- **専門的な指導を受けることができる**
- **いろいろな指導者に指導してもらうことで、新しい発見がある。**

【保護者】

- **外部からの指導は刺激になる。**
- **いろいろな指導者の目線で指導してもらえてとても良い。**
- **休日、外部に指導を委託することは賛成**
- **顧問の先生にも休息は必要**
- **クラブチームの指導者と顧問が子どものこと、指導のことについて意見交換している姿が見受けられ、情報共有がしっかりされていると感じた。**

【指導者】

- **今後、地域展開が進むことにより、専門的な指導ができること、色々な指導者からの指導を受けることによる新たな発見などがメリットとしてある。**
- **地域クラブとしては、人材の確保、予算面に課題がある。専門的に運営するためには、人材、予算ともに足りない。**

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

参考資料



【女子サッカー：地域指導者による技術練習の様子】



【陸上競技：地域指導者による基礎練習の様子】



【女子サッカー：地域指導者による技術練習の様子】



【陸上競技：地域指導者による指導の様子】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和4年　　令和5年～

「藤沢市部活動地域移行準備連絡会」設置	受け皿団体や指導者の選定、活動学校の選定	生徒、保護者への説明	地域クラブ活動の開始
●ステークホルダー ・藤沢市・藤沢市教育委員会 ・藤沢市立学校長等教員 ・藤沢市スポーツ事業関係者 ・藤沢市文化芸術事業関係者 ●経過 文部科学省が示す「部活動地域移行」について、藤沢市における在り方を構築するため、11月から検討を開始した。 ●実施内容 ・藤沢市の特性を活かした部活動地域移行とは ・令和5年度部活動地域移行委託事業構想案等について協議を行った。 様々なお立場からご意見をいただけた。 今後も積極的に取り入れていきたい。	●ステークホルダー ・藤沢市教育委員会 ・受け皿団体 ・学校長 ●経過 受け皿となりうる団体として、総合型地域スポーツクラブが想定されたことから、市内の総合型地域スポーツクラブへ検証参加の意向調査を実施し、受け皿となる意思を確認した。 ●実施内容 ・総合型地域スポーツクラブへアンケート調査を実施 ・活動場所となる学校との調整 ●実施にあたって生じた課題 実際に受け皿となることができる団体及び学校が少なく、指導者確保や学校の選定が困難であった	●ステークホルダー ・藤沢市教育委員会・学校長 ・生徒・保護者 ・管理運営団体・指導団体 ●経過 市教委・学校長・受け皿団体で令和5年度の活動に向け、生徒や保護者が安心して参加できるような説明になるか検討。 ●実施内容 ・活動学校ごとに保護者説明会を実施 ・保護者から懸念点や質問について回答。市教委からだけではなく、受け皿団体から直接説明をすることで、保護者の安心につながった。	●ステークホルダー ・藤沢市教育委員会・学校長 ・生徒・保護者 ・管理運営団体・指導団体 ●経過 市教委・管理運営団体・指導団体・学校長等と調整を行い、保険加入が終了次第活動を開始。 新入生保護者向けには、管理運営団体と指導団体が学校長と調整の上、改めて説明を実施。 ●実施内容 ・活動学校ごとに保護者説明会を実施 ・保護者から懸念点や質問について回答

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

	令和8年度	令和9年度	令和10年度以降
藤沢市教育委員会	学校部活動の縮減・教員の働き方改革の促進 モデル検証の継続		
藤　沢　市	具体的な方向性等を教育委員会と市長部局が協力をしながら検討		

※令和8年度以降具体的な時期は**今後調整のため未定**